

82 蓬萊橋

(西脇)

みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲現在の蓬萊橋



▲大正12年ごろの蓬萊橋(当時は西脇町)



郷土資料館所蔵「永代橋寄附帳」には、天保9年(1838年)に永代橋の架橋が議決されたとあります。架橋に際しては「播丹往来之道筋」であったことから、近隣の村々のみならず、京都や徳島、三重などからも寄附が集められました。

永代橋は幅が2尺4寸(72cm)、厚さが3寸5分(13cm)あり、当時としては立派なものでしたが、その後も洪水のたびに流され再建されたようです。

明治15年12月には幅9尺(2m70cm)の欄干付きの橋となり、初めて「蓬萊橋」と称されるようになりました。その後、昭和4年3月に鉄筋コンクリートの橋に生まれ変わり、現在では市内最古の鉄筋コンクリート橋となっています。

編集室から

「みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪」では、市内に点在する文化財や歴史ある建築物、市の隠れた魅力などを紹介しています。長く西脇市にお住まいの方でも、時にはご存じないものもあるのでは…。「そんなところあったんや」「今度行ってみるわ!」という声をいただくとしめたもので、地域の魅力や資源の再発見につながればと思ひながら、私も楽しんで取材をしています。学生の皆さんは夏休みの最中ですから、こういった題材を自由研究などで調べてみるのも面白いかもしれませんね。広報紙にお薦めの場所などがありましたら、ぜひ秘書広報課までお知らせください。

8月11・12日に「第7回へその西脇・織物まつり」が盛大に開催されます。日本の真ん中で打ち上げられる花火は過去最大数、短時間で集中的に打ち上げるため迫力満点です。お盆にふるさとへ帰省中の皆さん共々、夏の風物詩をお楽しみください。【H】

今月の一枚



市内のあるお宅にできたツバメの巣。大きな口を開けて餌を求め、雛たちの元に大きなガを捕まえた親鳥が戻ってきました。

発行／西脇市
編集／総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014
西脇市HP/ <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

西脇の自然

ミンミンゼミ (せみ科)

西脇市動植物生態調査 研究グループ



大型のゼミではほかのゼミよりも遅く、夏の盛り(8月中旬ごろ)から出現します。体形はずんぐりと太短くて頭部の緑色がよく目立ちます。

市街地ではまれで、主に山間部に生活の場を持ち、名のとおり「ミンミンミンミンミン」と大きな突き刺すような声で鳴きます。自然の中では見つけようとしてもなかなか見つけることは難しいと思います。

人それぞれで、ゼミの声も夏の暑い時にはうるさいと感じる人もいますが、暑さに負けず元気にパワフルに鳴く様子に感銘を受け、夏を感じています。

西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日
(年末年始を除く)
午前9時～午後5時
- ◆問合せ ☎23-5380

※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。
必ず健康保険証を持参ください。

8月の出務予定医師

8月 5日(日)	戸田 忠一 先生
8月12日(日)	近藤 行男 先生
8月19日(日)	三木 信彦 先生
8月26日(日)	富原 均 先生